

一般質問  
10 議員登壇

# 市政を問う

## 憲法9条とは

市長／非戦を誓った日本の宝である



宮迫 勝 議員

な審議が必要であると考える。

### つじめ防止について

**問** 憲法9条とは。  
**市長** 先の戦争で多くの尊い命が失われた反省のもとに、戦争をしないと誓ったもので、日本の宝だと思う。

**問** 安保法案についてどう考えるか。

**市長** 十分審議が尽くされていないと思う。多数の法律家、学者、研究者が憲法違反と発言している。多くの国民が疑問を感じ、不安と懸念が広がっていると思う。今一度、慎重

**問** どのように教訓化していくのか。

**教育長** 校内体制を今一度見直すように指導した。今後も各学校の「いじめ防止基本方針」を再度確認し、実効性のある取り組みが確実になされるよう指導したい。

### イノシシ等の被害防止について

**問** 7月19日に静岡県で電気柵による感電死事故があった。家庭電源の高電圧が原因との報道である。曾於市ではこのような施設はないか。

**市長** 静岡での事故後すぐに調査をしたが、家庭電源から直接つながいだ電気柵の設置はなかった。

**問** 今年は夏場よりイノシシの被害が出て、電気柵設置の要望が出

ている。今年の実績はどうか。

**市長** 昨年度は45基であったが、今年は8月末現在で、すでに50基を設置している。

さらに要望が出ているので、今回の増予算で15基分の増額をお願いしている。

**問** 電気柵の補助対象と金額はいくらか。

**市長** 受益戸数が3戸以上もしくは、総受益面積が50アール以上であること。価格は約1ha分で機器本体、電線、



イノシシ侵入禁止

支柱、電池など付属品を含めて8万1千円で、2分の1を補助する。

**問** 使いやすい制度への見直しは。

**市長** 団地化等も含めて考えたい。

憲法9条は  
世界と日本の宝です！

ちょっとひとりごと

# 弥五郎の里一帯の 開発について

市長／総合的な開発については必要と考える



上村 龍生 議員

**問** 弥五郎の里関連施設については、現在、道の駅・グラウンド施設・温泉施設・民間施設等がある。  
今後は周辺の旧中山公園等を含めた総合的

な開発が考えられ、旧中山公園については地元からパークゴルフ場建設の要望も上がっている。弥五郎の里を複合施設として開発することについて市長の見解は。

**市長** パークゴルフ場建設については、現在いろんなハードルがあると認識しているが、



弥五郎の里の全景

総合的な開発については必要と考える。

## 曾於地区医師会立 病院について

もあり、行政が主導しないと実現はしないと思うが、市長の考えを示されたい。

**問** 先の「あなたのそばで県議会」において大園県議（医師）の話によると、地方病院で最大の問題点である医師確保の観点からは高速道路インターの近くがベストであるとの話であった。曾於地区の場合、曾於地区のほぼ中央で鹿児島市内から最も近いインターは曾於弥五郎インターとなる。岩川小学校移転とのからみで岩川小学校を岩川高校跡地に移転し、曾於地区医師会立病院を岩川小学校跡地に移転できれば、病院の医師確保は格段に有利になる。

**市長** 移転問題が具体的にになった場合は、現在曾於市内に医師会病院はあるので、曾於市内に建設するよう協議会で強く要望していきたい。

また、移転問題は医師会だけでは対応できないと考えている。今後は、建設費の負担を含め、医師会と行政が一体となって取り組んでいく必要がある。

## 学力向上対策について

**教育長** 市として関係機関と連携して、指導者の指導力向上及び後継者の育成を図りながら、来年度から市内唯一の高校となる曾於高校を側面から支援していきたい。

移転問題の会議等で、ぜひ是非このことを強く発言できないものか。また、移転問題は医師会サイドの体力の問題

**問** 曾於高校から甲子園やインターハイ出場チームを送り出すことにより、市内の小・中学校の広い意味での学力向上が図られると考える。市としても、より一層の曾於高校支援体制作りが必要だと考えるが。



あなたのそばで県議会

医療費（歳出）削減は  
健康づくりから！

ちょっとひとりごと

# 上町区画整理事業と 保留地の売却は

市長／平成36年度で終える計画である



海野 隆平 議員

## 分譲地箇所図



末吉上町土地区画整理地

**問** 区画整理地内測量確定における保留地の全体面積、保留地の全金額、全筆数、保留地の残面積、残地の処

**市長** 保留地については全体面積が4万7955㎡、全金額は9億9533万円。全筆数は現在157筆である。平成27年9月1日現在の保留地の残面積が1万9381㎡

分金額、残筆数。地権者数と空き家数など示せ。

**市長** 保留地について

は9億9533万円。

全筆数は現在157筆

である。平成27年9月

1日現在の保留地の残

面積が1万9381㎡

分金額、残筆数。地権

者数と空き家数など示

せ。

**市長** 保留地につい

ては全体面積が4万

7955㎡、全金額

は9億9533万円。

全筆数は現在157筆

である。平成27年9月

1日現在の保留地の残

### 胡摩地区の活用と 今後の対応は

**市長** 保留地の処分計画は平成36年度で終える計画である。土地の評価見直しについては現時点では考えていない。

**問** 今後の保留地処分の計画は何年度までか。また、土地の評価の見直しについての考えはないか。

で残地処分金額は2億8799万円が残っている。残筆数は59筆で地権者数465人空き家数5棟となっている。

**問** 外山木材への用途変更については地権者に説明されたか。同意は得られたのか。また、土地の買収はどこまで進んだのか。

**市長** 用途変更については、平成26年12月25日付けで用地を買収していたいただいた方に、新たな企業を誘致する方向で計画を進めるため、お願いの文書を送付した。遠方の方には郵便にて用途変更の同意をお願いした。用途変更の同意については、9名の方の同意が得られていない状況である。

**問** 5月29日外山木材より曾於市への進出は断念したとあるが、断念の理由と報告の内容については。

**問** 外山木材は志布志市有明町に進出すると話があるが聞いていますか。

**市長** 聞いていない。知らなかった。

**市長** 外山木材は事業を急ぐ必要から他の地区へ進出したいと去る5月29日来庁され説明があった。

**問** 9月を待たずに外山木材は進出を断念したが、今後の活用については。

**市長** 売買契約者全員から用途変更の同意を頂き地元の理解を得ながら、企業誘致に努めたい。

外山木材の進出については実現に向け強い信念で望むと言ったあの言葉は何だったのか。

ちょっとひとりごと



**別表**

全国学力テスト正答率 (%) A:基礎 B:応用

[小学校6年]

平成27年4月実施

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
全 国	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8
鹿 児 島 県	68.4	65.8	75.9	42.5	63.4
曾 於 市	64.8	59.9	72.2	38.4	63.3
曾於市昨年比ポイント	-4.3	+8.2	-3.0	-13.2	—

[中学校3年]

	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
全 国	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0
鹿 児 島 県	73.3	64.1	61.7	39.4	51.9
曾 於 市	68.0	58.1	55.9	31.5	45.9
曾於市昨年比ポイント	-5.0	+15.6	-7.4	-22.9	—

**問** 全国学力テストの結果が公表された。曾



土屋 健一 議員

小・中とも国語Bが伸

である。昨年と比べて

於市の結果は昨年と比べて向上しているのか。全国平均、県平均と比べてどうか。

教育長／向上させたい

# 全国学力テスト 曾於市の結果は

びたが、他は下回った。全国平均、県平均と比べて小・中とも非常に厳しい状況であると受け止めている。

**問** 今までの指導方法で良いのか。曾於市独自の取り組みは考えられないのか。

**教育長** 今年3月に定めた曾於市学力向上プランに基づいて

①「力のある学校づくり」の推進

②「学びの基礎力」の定着

③「協働的探究的な学び」の推進

④「曾於市学力向上スタンダード」の徹底

⑤幼・保・小・中・高連携の推進

⑥「家庭教育」の充実

などを重点的に取り組んでいる。10月から土曜授業も始まるので学力向上に結びつきたい。

**問** 学校現場に切実感を感じられるのか。

**教育長** 校長会、教頭会でも積極的に語られている。現場の意識は確かに上がっている。

**問** 学力向上支援員の現状は。大規模小学校や中学校へも拡充してはどうか。

**教育長** 現在、学力向上支援員は8名で、教員免許の有資格者である。市内14の複式校で担任と連携しながら学習指導にあたっており、成果が上がっている。大規模校対策も考えている。

**問** 新聞を読む子は学力が高いデータがある。積極的に取り入れたらどうか。

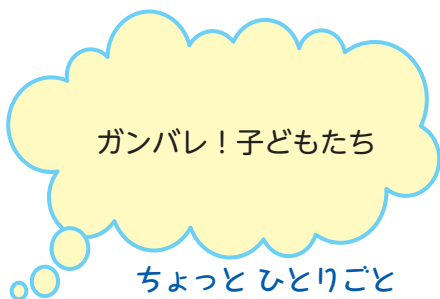
**市長** 新聞活用のある学校もあり成果を上げている。活用していきたい。



がんばれ 中学生！



数学の拠点校である財部中学校



# 保育料は 1万円以内に軽減を

市長／検討はしたい



徳峰 一成 議員

**問** 保育料を最高1万円以内に軽減することは、市長の重点公約であった。財政上困難はあっても、重点公約であり任期4年以内に完全実行すべきではないか。

**市長** これまで平均で1万2千円まで引き下げ、志布志市の水準となった。  
やらなければならぬことはいつばいあり、財政の問題もある。公約は大事であり、検討はしたい。

## 国民健康保険加入者 全員に温泉券の発行を

**問** 昨年後半から、65歳未満は発行されていない。旧財部町では5年前から希望者に発行されてきたように、長年にわたり市民に親しまれてきた。希望者に発行されたとしても、年間に150万円の予算で対応できるのではないか。

**市長** 今年3月市議会では、希望者全員に温泉券の発行を求める、文教厚生委員長の報告もあった。市長は来年度から、希望者には全員に発行すべきではないか。

**市長** 議会全体がそうした意見なら、議会の意見は尊重したい。

## 職員採用試験について

**問** 資料に見られるように、この3年間合格者の半分以上が市外の受験者である。今後も合格者の制限枠を設けず、採用する考えか。

**市長** これまでどおり、成績順で採用したい。

**問** ただ、二次試験の面接は、市長と副市長の3人で行っている。公正に面接を行っても受験者のご家族に市の

## 職員採用二次試験の結果 (単位：人)

年度	全体	市内	市外
24	11	8	3
25	19	9	10
26	18	9	9
27	19	8	11

三役の面識の方がおられた場合、試験の結果について市民全体の納得を得ることは率直に言ってきびしいのではないか。

**市長** このため面接官には、市外の学識者3名以上を加えるべきではないか。

**市長** 参考意見としたい。

**問** 二次試験の合格者は2人に1人と厳しい。面接官はぜひ増やすべきではないか。

**市長** 参考意見としたい。

## 危険廃屋解体撤去補助

(単位：件)

解体工事費	H21	H22	H23	H24	H25	H26	計
50万円未満	4	13	4	9	7	4	41
50～100万円未満	22	40	36	45	45	45	233
100～150万円未満	6	19	16	25	32	33	131
150～200万円未満	2	0	2	6	8	8	26
200～250万円未満	0	4	2	2	3	3	14
250万円以上	0	0	1	0	0	0	1
計	34	76	61	87	95	93	446

## 危険廃屋解体補助の 拡充を

**問** 平成21年度からこれまで、446件と数多く利用されてきた。ただ資料にみられるように、工事費の少ない廃屋に集中している。今後、補助内容の見直しと拡充が必要ではないか。

**市長** 補助の上限額を引き上げを含め、検討したい。

重点公約は完全実行を！

ちょっとひとりごと

# 曾於市の防犯対策は

市長／早急に検討に入る



原田賢一郎 議員

**問** 学校及び主要施設商店街の監視カメラの設置状況は。

**市長** 大隅中4基、財部中5基、メセナ末吉交流センター1基、四季祭市場5基、やごろう農土家市5基設置している。

**問** 児童・生徒の安全確保上早急な対策を。

**市長** 警察、商工会、学校、地域、家庭等と



昭和40年に建設された浅井橋

連携を図り商店の監視カメラ設置助成も含め早急な検討に入る。

## 橋梁安全対策は

**問** 昭和の時代に失業対策事業で建設された橋は大丈夫か。

**市長** 平成21年度に調査を行ったが、措置が必要な橋はなかった。

**問** 失業対策事業で建設した橋の場所と年度は。

**市長** 財部町は宝来橋が昭和38年、堤橋と溝ノ口橋が昭和39年、堂之橋が昭和41年建設の4橋である。

末吉町が種子田橋で昭和41年建設。

大隅町は小松橋で昭和40年、蔵谷橋が昭和45年、浅井橋が昭和40年建設の3橋である。

**問** 安全性のチェックはできているか。

**建設課長** 耐震性の確認はできていないが、今すぐ手を入れないと崩落するような状況ではない。点検を計画的に行っていく。

## 低米価改善対策は

**問** 27年度の飼料用米及び飼料用稲(WCS)の作付け状況は。

**市長** 飼料用米13・7ha、WCS170・1haである。

**問** 畜産農家との飼料用米及びWCS契約締結に対し稲作農家への助成策は考えられないか。

**市長** 助成は考えていないが稲作農家の収益が増えるよう努力していく。

## 鳥獣被害は

**問** 使い勝手のよい電気柵設置助成は考えられないか。

**経済課長** 1申請者1基当たりで行っていた。来年度以降の要綱見直しを協議している。

## 森林保全対策の管理は

**問** 最近、照葉樹林が一面褐色になり大木が枯死している原因は何か。

**市長** カシノナガキクイムシという5mm位の昆虫が木に潜り込み、持ち込んだ菌が蔓延するものもある。

**問** 被害状況は。

**市長** 被害全表面積81haうち実被害面積4haである。



被害にあった照葉樹林

**問** 保護の手立てを打つべきでは。

**経済課長** 3年程度で被害は終息し、枯れるものもあるが回復する事例が多い。

安心安全な住みよい  
曾於であってほしい

ちょっとひとりごと



# 市内、小・中学校の 学力向上を

教育長／学力向上を最重要課題ととらえている



沢合 昌昭 議員

**問** 学力をあげるために教育委員会として学校に指導してきた内容は。

**教育長** 教育委員会は学力向上を最重要課題



今日も元気にガンバロウ

ととらえ、昨年度から学校に対して3つの取り組みを重点的に指導してきた。

- まず1点目「学習に臨む心構えや態度」といった学習規律の徹底。
- 2点目「基礎学力」定着の徹底。
- 3点目「教職員の指導力向上」に取り組んできた。

**問** 家庭教育が大切だと思うが、教育委員会として指導してきた内容は。

**教育長** 1つ目は「家庭学習60・90運動」の周知と実践化であり、各学校が作成した手引き等を活用し家庭学習への啓発活動をしてきた。

- 2つ目は、「ノートレジャー」を設置し、朝読み・夕読み、親子読書の啓発活動。
- 3つ目は、「早寝・早起き・朝ごはん」といった基本的生活習慣の重要性を周知してきた。

**問** 廃ビニール業者に對する行政としての指導してきた内容は。

## 諏訪地区の廃ビニール処理施設建設は

**市長** 今年6月に副市長、関係課長で構成する曾於市環境保全推進協議会を開催し、その

中で廃ビニール処理施設建設に伴う工事着手届け、また人口付近にある農用地について農地転用許可申請の提出を求めたところである。

**問** すでに廃ビニールの持ち込みがされたが内容は。

**市長** 今年7月8日に地域住民から「現場にビニールが運び込まれている」との情報があり、県リサイクル対策課に連絡、現場確認に向かいトラックで数台分と思われる廃ビニールが置かれていることを確認した。

**問** 6月議会で建設反対陳情が出され全会一致で採択、行政としての対応は。

**市長** 4月に地元説明会において事業主不在により事業内容がよく分からず、予定地に電話・電気が引かれ、水



廃ビニール処理施設建設  
反対の看板

利組合に対しても、事業内容、排水計画の説明がなく今後も必要な助言、指導を行ってきたい。

**問** グラウンドゴルフ場の収支計画は。

**市長** 使用料をとらず広く市民に開放し、健康づくりや交流の場としていく。収入は見込んでいない。支出で電気料、水道料など年間420万円を予定している。

## 新地公園の進捗状況は

**問** 市長がグラウンドゴルフ場として進めている新地公園の環境調査について伺いたい。

**市長** 平成5年に都市計画に決定され、周辺に大規模の畜産施設もないことから環境調査は予定していない。

指導力に期待します

ちょっとひとりごと

# 財政計画の見直しは

市長／目的の達成した事業は今後見直ししていく



今鶴 治信 議員

31億8029万円に大幅に減額になっているのはなぜか。

**問** 平成26年10月に策定した財政計画では、基金残高が、平成27年度末97億7487万円であった。平成27年度当初予算においては、65億9465万円

**市長** 減額になった要因は、国営曾於北部土地改良事業負担金の支払いのため土地改良基金14億2000万円を取り崩したこと、財政計画に計上している決算見込みに伴う積立金12億円を計上してい

特定目的基金の年度別取崩総額  
(平成27年9月末現在)

年度	基金取崩金額
22	2億2,911万円
23	1億9,001万4千円
24	3億2,092万3千円
25	6億1,741万1千円
26	10億1,762万8千円
27	29億9,490万1千円

ないことが主な要因である。

**問** 五位塚市長になつてから公約実現のため18歳未満の子ども医療費助成に約1億800万円。保育料の軽減に1億1000万円。これまで国民健康保険者が対象だった温泉保養券を取りやめ、65歳以上の市民全員の希望者に温泉保養券の配付を拡大して1800万円等を一般財源から支出している。

**市長** 国民健康保険特別会計に法定外繰入金を9000万円等、国の助成がなく市の持ち出しが増えている。平成28年度以降、普通交付税が減額されて財政が厳しくなつていくが、今後もこれらの事業の継続は可能なのか。

## 胡摩地区の企業誘致について

**問** 外山木材の企業進出断念に関して反省点として、公園から企業誘致に目的を変えた時点で、すぐに地権者の同意を得ることを始めていけば間に合ったのではないか。

**市長** その時点では、売買契約の内容を把握していなかったため地権者への説明が遅くなったことは、反省している。今後も同意をお願いしていく。

## 諏訪地区の廃ビニール処理場について

**問** 既に廃ポリ等が次々持ち込まれている現状に地区住民は、市議会でも反対陳情を全会一致で採択されたのに地元説明会も未だにない。住民無視で事業が進むことへの怒りと行政への失望感を抱いている。市長としてどう思うか。

**市長** 廃棄物処理に関しては、県の許認可になっているため市で対応できることには限界がある。業者には、「ま



自宅に保管された農業用廃ポリ

ずは地元住民に対し、しっかりとした説明を行うことが必要である」と助言を行った。これからも県と連絡をとりながら地元住民にも報告していく。

これ以上の基金減少は  
財政の硬直化をまねく

ちょっとひとりごと



# 胡摩地区の買収地の 再開発と状況は

市長／新たな企業誘致をめざす



岩水 豊 議員

となつてゐる。この時点では、パークゴルフ場等の目的があつたところである。

**問** 買収した土地で、市へ登記済の農地は何筆あるか。

**市長** 畑4筆が、市に登記済みである。仮登記の農地は7筆ある。

**問** 行政が農地を購入する場合は、目的が明確でないとは登記できないのではないか。

**市長** 購入した農地のうち4筆は、平成25年6月20日に所有権移転の登記を行い市の所有

法上の問題はないか。また、調査期間中は農地の一時転用の手続きが必要であるが手続きをされたか。

**市長** 手続きをしていなかった。胡摩地区の跡地利用に関する問題では、いろいろな不備があり、お詫び申し上げます。

**問** 行政機関が農地を取得することは、違法性があるのではないか。

**市長** 錯誤の手続きが必要である。

**問** 市長就任以来2年が経過しているが、農地の登記上の問題を放置していることは、行政の怠慢ではないか。

**市長** 最近、農地が市に登記されていることを知った。市に手続き上の間違いがあつた。

**問** 昨年、遺跡発掘調査をしているが、農地

をいただいている。今後は、平成28年2月14日に植樹祭を行う予定である。

**問** 名所計画として桜の花見の時期は、焼肉大会だけではお粗末すぎるのではないか。今後どのような計画を考えているか。

**市長** 春の花見シーズンには、桜の花の下で焼肉大会。夏には、夏祭り。秋にはもみじ。冬には、イルミネーションや正月行事を計画したい。しかし行政だけでは、盛り上がりには欠けるので、商工会や道の駅農土家市、市内の露天商の方々の協力をもらい盛り上げていきたい。

## 「弥五郎の里」桜の名所計画について

**問** 桜の植栽計画と寄付状況は。

**市長** 現在84名の方から92本分46万円の寄付



桜の名所をめざして

母智丘の桜まつりに  
負けないように

ちょっとひとりごと

# 市内の鳥獣被害状況は

市長／大隅地区鳥獣保護区の

指定解除へ向けて努力する



坂口 幸夫 議員

**問** 市内の平成26年度分の鳥獣被害状況について報告されたい。

**市長** 鳥獣被害面積が4180aで被害金額が1060万円と推定される。

**問** 大隅鳥獣保護区内の被害拡大を心配し、住民から保護区、解除の声が多い。指定解除の考えは。

**市長** 保護区の指定解除については、県との協議が必要になるので、今後地元からの要望、被害の状況などを県にも説明しながら、保護区の解除、縮小などについて協議をしていきたい。

**問** 今後、市の被害防止対策の予算をどのように考えているか。

**市長** 予算については、有害鳥獣捕獲隊による鳥獣捕獲実施、電

気柵設置補助などの充実を重点的に取り組んでいく。

## プレミアム付商品券発行事業について

**問** この事業の反省点と今後（次回へ）の教訓を示されたい。

**市長** この事業については市内の商工業の活性化と、市民の方々がプレミアム分の恩恵を受け、消費拡大を図ることを目的に実施されたところである。

商工業の活性化には繋がったと思っている。一部の方々が商品券を購入できなかったことで20%の恩恵を受けられなかったことが反省としてあげられる。この事業は単年度事業だったので、次回、このような事業が継続するようであれば他の市町村の成功事例を参考に取り組みたい。

## 組織機構について

**問** 県内19市の中で商工・観光課（仮称）の設置状況は。

**市長** 県内19市の中で、商工、観光、PRの名称のついた課を設置しているのは、曾於市を除く18市である。

**問** 商工・観光課の設置が必要と思うが。

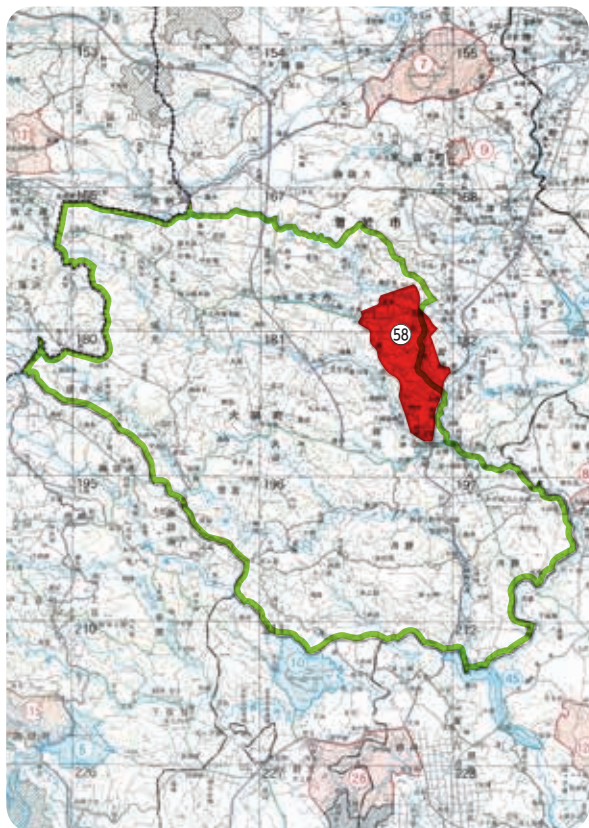
**市長** 現在、ふるさと納税が順調に伸びている。他市町村との競争力を高めるうえでも、窓口の一本化を図り、強力に促進する必要がある。この他グリーンツーリズムやイベント等多様なニーズへ対応するとともに徹底した観光PRや情報の発信によって曾於市の知名度・認知度の向上を図り、産業振興につなげていく必要がある。このようなことから、商工・観光に特化した専

門部署の設置が必要と考える。

## 教育行政について

**問** 本市における児童・生徒のいじめの実態は。

**教育長** 平成26年度の本市におけるいじめの発生状況は小学校15件、中学校11件である。本年度は、7月末現在において小・中学校からのいじめの報告はない。



大隅地区鳥獣保護区

実りの秋をむかえるまで  
自然災害が発生しないように

ちょっとひとりごと